

施策分析シート（令和5年度）

No1

施策名	青少年健全育成運動への支援	施策No	10-05	部課名	子ども家庭部児童青少年課
				課長名	岩瀬 内線 3830

関連部課名	総務企画部総務企画課、区民生活部区民課
--------------	---------------------

行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成

目的
 青少年健全育成団体を支援し、青少年の見守りや育成活動の継続を図る。
 青少年の社会参加を促進し、青少年福祉の阻害行為を防止し、青少年の健全育成を図る。
 荒川区の特色を活かした活動により、次代を担う子どもたちの健やかで豊かな成長を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①	地域に頼れる人がいる実感度	—	2.58	2.55	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	社会を明るくする運動参加者数	769	3,670	26,000	30,000	33,000	各地区の社会を明るくする運動の参加者数
②	こどもまつり参加者数	0	0	10,800	12,000	25,000	各地区のこどもまつりの参加者数 ※令和2,3年度は5地区とも中止
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	行政費用	給与関係費	18,970	19,385	415	地方税等	0	0
物件費		3,167	787	▲ 2,380	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		0	0	0	都支出金	646	684	38
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		6,658	10,384	3,726	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		0	0	0	その他	0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	646	684	38
賞与・退職給与引当金繰入額		2,609	1,068	▲ 1,541	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 30,758	▲ 30,940	▲ 182
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		31,404	31,624	220	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 30,758	▲ 30,940	▲ 182
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 30,758	▲ 30,940	▲ 182	

貸借対照表	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	867	825
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	867	825	▲ 42
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	10,002	9,138	▲ 864
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	10,002	9,138	▲ 864
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	10,869	9,963	▲ 906
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 10,869	▲ 9,963	906	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 10,869	▲ 9,963	906	
資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	

財務諸表に関する特措事項等

○行政費用については、給与関係費等や各青少年健全育成団体に対する補助金等の補助費等が約9割以上を占めている。令和3年度に実施した協議会に関する調査について、3年度をもって終了し、令和4年度は実施しなかったため、物件費は減少した。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○青少年問題協議会（区長、区議会議員、学識経験者、関係行政機関で構成）では、社会情勢の変化などを踏まえ、青少年健全育成基本方針を定め、各地区活動で活用している。</p> <p>○青少年育成地区委員会、青少年育成地区委員会連絡協議会、「社会を明るくする運動」推進委員会、「あらかわの心」推進運動区民委員会等の団体は、町会、学校、警察、民間企業等の関係機関と連携を図りながら、地域に根付いた活動を行っており、参加者も多く、青少年健全育成活動の枠をこえて、環境美化活動や地域見守り活動等の多面的な展開をみせている。</p> <p>○特に、「あらかわの心」推進運動については、「あいさつ」「きまり」「思いやり」「体験」「見守り」の5つの取組を区民が主体となって推進しており、あいさつの励行や相手への思いやりといった社会規範や倫理感を醸成させるための運動として、有意義な試みである。</p> <p>○令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、活動規模を縮小するなど工夫して実施した。また、対面で実施が必要な事業等は、感染予防を行いつつ実施している。</p> <p>○令和4年度は、感染対策を徹底した上で、「社明パレード」「子どもまつり」などのイベントや「社明感謝状贈呈式」など多くの事業が再開した。</p>
課題	<p>○ニートやひきこもりなど若者の自立をめぐる問題の深刻化や、児童虐待、いじめ、少年による重大事件、インターネットに起因する犯罪など、近年の青少年問題は複雑化、多様化してきている。</p> <p>○より円滑な事業執行を図るため、関係機関とより一層連携を強めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○地域が主体となって展開している活動は、地域コミュニティを活性化する上で大変重要であり、今後とも活動が発展していくよう、効果的な支援に努める。</p> <p>○「荒川区青少年健全育成基本方針」に基づき、各青少年育成地区委員会、町会、関係機関等と連携を取り、荒川区の特色を活かした青少年健全育成活動を実施していく。</p> <p>○新しい生活様式を踏まえ、地域団体等との連携や相互協力のもと青少年健全育成活動を工夫して行っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
5年度	6年度	
推進	推進	青少年育成運動は地域に定着し、防災、防犯、環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、区として推進していく必要がある。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
保護司会支援事業	01-01-09	7,317	3,987	513	1,000	継続	継続	犯罪の予防や青少年の健全育成、区の安全安心の向上のため、引き続き保護司会に対する支援を行っていく。
青少年問題協議会運営費	10-02-08	4,386	1,650	2,802	141	継続	継続	施策・方針に反映するため、複雑化、多様化する青少年問題に即したテーマを取り上げ、引き続き意見交換を行っていく。
青少年育成地区委員会連絡協議会補助（自然まるかじり体験塾等）	10-02-10	11,214	15,090	5,117	7,173	推進	推進	青少年の健全育成を進める地域活動の要の組織体であり、今後も推進する。
「あらかわの心」推進運動区民委員会への補助	10-02-12	5,145	5,348	1,028	1,201	推進	推進	区民への周知に努め、「あらかわの心」推進運動を支援していく必要がある。
「社会を明るくする運動」推進事業	10-02-13	3,342	5,549	413	1,779	継続	継続	現状の内容で継続する。
合 計		31,404	31,624	9,873	11,294			